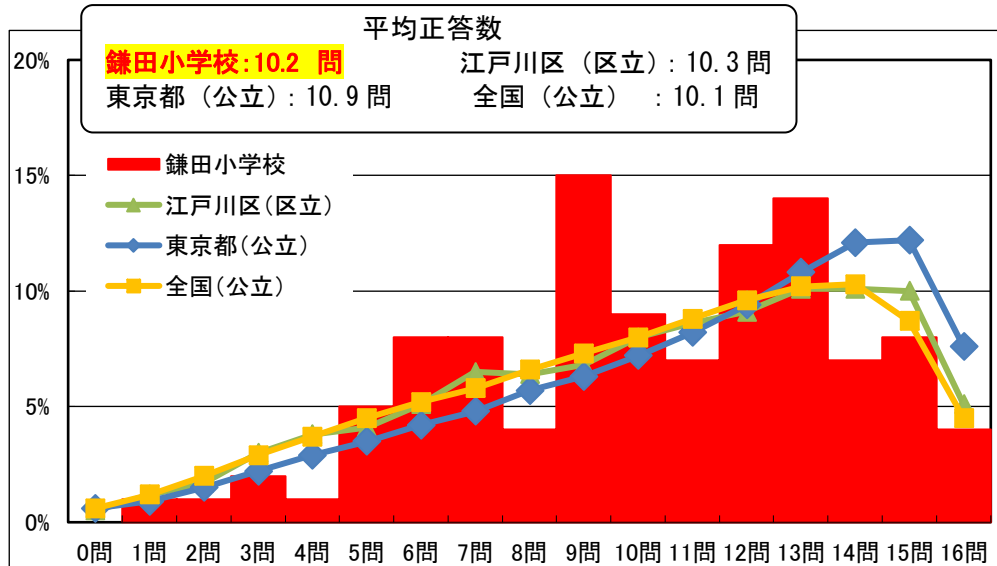


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 鎌田小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
鎌田小学校	18.0	24.4	33.1	24.5
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

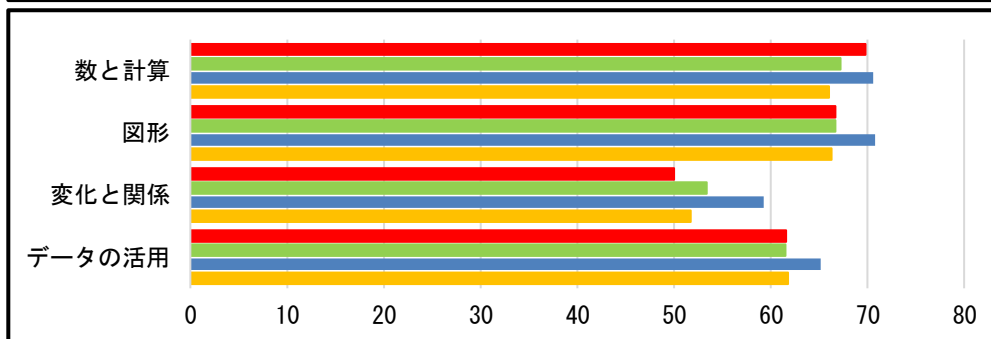
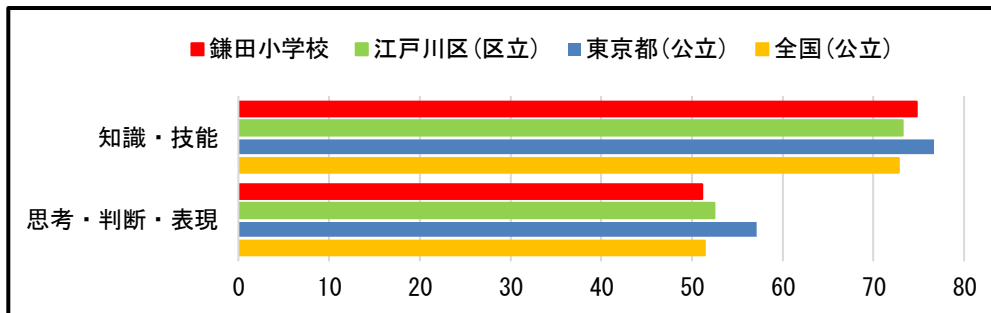
鎌田小学校	64%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	-4ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

「A 数と計算」「D データの活用」はおおむね都の平均と変わらない。「B 図形」は約4ポイント低く、「C 変化と関係」に関しては9ポイント低い結果となっている。

授業改善に向けては、円柱の展開図についての理解が不十分であったため、具体物を使った授業展開を行う。また、展開図についてはICTを活用したり、作図を行ったりして展開図に対する十分な経験を培っていく。

「領域別」の結果



四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。